

成田赤十字病院を受診された患者さんへ

当院心臓血管外科では下記の臨床研究を実施しています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用はまたは提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	非解離性弓部大動脈瘤に対するオープンステントグラフト法の治療成績および合併症の検討
当院の研究責任者	渡邊 裕之（心臓血管外科）
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>非解離性弓部大動脈瘤（TAA）に対する外科治療は選択的脳分離法やエレファントトランクを使用した step wise 法の導入以降、治療成績は向上しているが、末梢吻合は時に術野が深くなるため吻合操作が難しく、その止血に難渋することが少なくない。近年では下行大動脈および一部の TAA に対しては胸部ステントグラフト内挿術の導入が進み、良好な治療成績が報告されているが、適応はまだ限られており、開胸手術の意義はまだ大きい。オープンステントグラフト法（FET）の導入以降、末梢吻合を浅い位置で行うことができる簡便性、時に残存する大動脈瘤に対する二次的 TEVAR の必要性がなくなることから、その適応は拡大されつつある。しかし、中枢神経合併症の観点からは従来型弓部全置換術との優越性には議論が残るところであり、それに関する報告はまだ少ない。</p> <p>当院における TAA に対する従来型全弓部置換術および FET を用いた全弓部大動脈瘤置換術後の早期治療成績を明らかにし、この病態に対してのオープンステントグラフト法の妥当性について検討する。</p>
研究期間	当院倫理委員会承認日から令和 3 年 12 月 31 日
研究の方法	<ul style="list-style-type: none">- 対象となる患者さん 当施設において 2012 年 1 月-2019 年 12 月の間に非解離性弓部大動脈瘤に対して全弓部大動脈瘤置換術を受けた 18 歳以上の患者さん。大動脈疾患の病因、同時施行手術の種類は問わない。- 利用する情報 既存情報（性別、年齢、既往歴、合併症、手術情報、CT 検査デー

	夕、術後合併症等) を収集する。
試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法	試料/情報の他の研究機関への提供は行わない。
個人情報の取り扱い	連結可能匿名情報として患者情報を取り扱う。患者特定に必要な対応表は病院内のみで厳重に管理する。データ管理・分析、その成果物については、患者個人が特定される形での公表は行わない。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係等にある企業等はありません。
お問い合わせ先	成田赤十字病院 心臓血管外科 渡邊 裕之 住所：千葉県成田市飯田町 90 番地 1 電話：0476-22-2311 (代表)